

四旬節第5主日

福音朗読 ヨハネ 11・3-7、17、20-27、33b-45

2023.3.26

カトリック高円寺教会
主任司祭 高木健次神父

今日の福音では「イエス様が心に憤りを覚えた」という表現が2回出て来て、そしてまた、「涙を流された」という、イエス様の非常に大きな心の動きが表現されています。でも、これは一体何に対してなのかということは、福音書を注意深く読んで行かないと、わたしたちもユダヤ人と同じ——このユダヤ人というのは今のユダヤ人ではなくて、今日の福音の中に登場して来る「ユダヤ人たち」って表現されている人たちです——その人たちと同じ勘違いをしてしまう危険があります。そして、その勘違いを、「聖書と典礼」の解説もしているような気がしています、わたしは。

イエス様が涙を流されたっていうのは、ラザロが死んじゃったからじゃないんです。それはユダヤ人たちの勘違いで、「御覧なさい、どんなにラザロを愛しておられたか」と、イエスが涙を流されているのを見てそう言うわけですけども、ヨハネの福音書で「ユダヤ人たちがこう言いました」っていうせりふになっているのは、「それは間違っている」という結論になっていくための人々の発言なんです。今日の福音は、今わたくしが朗読しましたのは短いヴァージョンで、ほんとはもっとヨハネの福音書の11章の前半の部分のほとんどのところをずうっと朗読していかなきゃいけないのですが、途中がだいぶ省略されて、お話がくっついちゃってるんです。

つまり、イエス様はラザロを復活させるためにやって来た。そして、イエス様ご自身の存在によって人々に命が与えられるんだっていうことを示そうとしているのに、迎えに出たマルタは「イエス様を信じます」って言いながら、「このイエス様でも死んだ者にはどうしようにもできないでしょう」とって心の中では思っているんです。で、今日の省略されてしまった箇所では、その姉妹のマリアがイエス様を迎える場面で、マリアもイエス様の足元にひれ伏して信頼を表わしているような姿だったんだけど、でも結局はお葬式のために集まって来たユダヤ人たちと一緒に、ラザロが死んでしまったっていう出来事のほうを心の中心に置いて、結局はイエス様に希望を置くんじゃなくて、また泣きに行っちゃ

うっていう、そういうような姿を見て、自分が命を与えるためにここに来ているのに、ここに集まっている「信じます」って言っている人たちをも含めてみんな「ラザロが死んでしまった、ラザロが死んでしまった」っていうその起こった出来事ばかりに心を奪われて、ここにイエスご自身が命を与えようとして来ているっていうことに誰も目を向けない。そのことを非常に悲しまれる、というその涙なんです。そして、そのための憤りなんです。なので、ある意味では、父である神様が人類に多くの恵みを準備しているのに、でも人類のほうは神様との関係を断ち切って、自分たちの中の苦しみに留まろうとする、っていうその姿全体に対する悲しみでもあり、また憤りであると言わなければならないわけなんです。

それは、この出来事の中の人々についてだけではなくて、わたしたちもどうなのかと、やっぱり「イエス様を信じます」って言いながら集まっても、でも日々の出来事やあるいは自分の中の絶望っていうのは神様でもどうすることもできないんだって勝手に決めつけて、その苦しみに留まろうとする、ということはないだろうかということ。ほんとに大きな苦難の時こそ、イエスの姿に目を向けなければならない。

イエス様が今日の福音の中ではっきり「わたしは復活であり、命である」（ヨハネ 11・25）と言ってる。しかし、マルタはその言葉は聞いていても、聞き流しちゃってるんです。そして「自分は信じております。前から信じてました」って言っても、お墓のところに連れて来て、「もう四日もたってますし、来て見てください」と人々は言うんです、「こういう有様です」と。「どうぞ来て、今こそ力を振るってください」と言わない。そういう、わたしたちが神様と繋がっている、あるいはイエス様を信じている、ということに対する限定的な信頼というか、あるいはそのことも結局は一人ひとりの直面している困難の前にはあんまり力はないんだっていうあきらめみたいな、そういう思いを持ちながら信仰生活を送っているということならば、それこそが「イエス様が泣いてるよ」ということになります。

今日このごミサを通して再び、ご聖体を通して、あるいは祝福を通してイエス様との繋がりを確認いたします。ごミサの中で確認したその繋がりにほんとに信頼を持って、わたしたちがいろんな形で直面している困難だけに目を奪われるのではなく希望を保つ、そしてイエス様が働いてくださるその時を待つことができますように、神様の恵みに、その繋がりに心を開きたいと思います。

ミサ説教はカトリック高円寺教会ホームページの「ミサ説教」のページにも掲載されています。

PC <http://www.koenji-catholic.jp/cgi-bin/wiki/wiki.cgi>

携帯 <http://www.koenji-catholic.jp/mobile/>